

しんねんど
新年度のスタート

今年^{ことし}の3月^{がつ}は全国的^{ぜんこくてき}に暖^{あた}かな日^ひが多く、4月^{おおく}に入^はってもぽかぽかとした陽気^{ようき}が続^{つづ}いています。桜^{さくら}の花^{はな}も新年度^{しんねんど}の始^{はじ}まりを喜^{よろこ}んでいるかのように美しく咲^{うつく}いていました。新入生^{しんにゅうせい}51名^{めい}を新^{あら}たに白山^{はくさん}ファミリーとして迎^{むか}え、令和^{れいわ}8年度^{ねんど}が始^{はじ}まりました。

学校長^{がっこうちょう}は、入学式^{にゅうがくしき}の式辞^{しきじ}の中^{なか}で「中学校^{ちゅうがっこう}の三年間^{さんねんかん}は心^{こころ}も体^{からだ}も大きく変^おわる時期^{じき}。気^きにな^おったり不安^{ふあん}に感じ^{かん}たりすることもあります。うまくいかないこと、思うようにできないことあるでしょう。それでも大丈夫^{だいじょうぶ}。中学校^{ちゅうがっこう}はつまずきながら皆^{みな}で成長^{せいちょう}する場所^{ばしょ}です」とお話し^{はな}されました。また、始業式^{しぎょうしき}では、「新^{あら}たな仲間^{なかま}との出^で会^あいを大切^{たいせつ}にし、そして新^{あら}しい自分^{じぶん}にも出^で会^あえるよう、一歩^{いっばふ}踏^ふみ出^だしてみましょう。気^きの合^あう仲間^{なかま}や、一生^{いっしょう}懸命^{けんめい}打ち込^うめるものを見^み付^つけることができたら、学校生活^{がっこうせいかつ}がより充^{じゅう}実^{じつ}したものになります」というお話し^{はなし}がありました。

今年度^{こんねんど}も、生徒^{せいと}が仲間^{なかま}とともに力^{ちから}を合^あわせ、『笑顔^{えがお}』で充^{じゅう}実^{じつ}した学校生活^{がっこうせいかつ}を送^{おく}ることができるよう、職員^{しよくいん}一同^{いちどう}、力^{ちから}を合^あわせて教育活動^{きょういくかつどう}に取り組^と組^くんでいきたいと思います。一年間^おも、よろしくお願^{ねが}いいたします。

ほんねんど がっこう どりよくてん
本年度の学校努力点

学習指導要領 名古屋市教育振興基本計画 ナゴヤ子ども応援大綱

学びの方針 ナゴヤ 学びのコンパス

実現したい市民の姿
自由な市民として互いに認め合い、共に社会を創造する

目指したい子どもの姿
ゆるやかな成長性の中で自立して学び続ける

重視したい学びの姿
・自分に合ったペースや方法で学ぶ ・多様な人と学び合う ・夢中で探求する

どの学校園でも大人が大切にしたいこと
・子どもは有用な学び手であると理解し、子どもの学びに伴走する
・子ども一人一人の思いや願いを尊重する ・子どもと対話する
・子どもの自分なりのチャレンジを大事にする



今年度^{こんねんど}も、名古屋市^{なごや}学校教育^{がっこうきょういく}の努力目標^{どりよくもくひょう}であるナゴヤ^な学び^{まな}のコンパス^{もと}を基^{もと}に、本校^{ほんこう}の学校^{がっこう}努力点^{どりよくてん}を「笑顔^{えがお}で学び 笑顔^{えがお}で生きる ～みとめ You & みとめ I～」としました。昨年度^{さくねんど}までの対話^{たいわてき}的な活動^{かつどう}の充^{じゅう}実^{じつ}を目指^{めざ}した取組^{とりくみ}をベースに、「他者^{たしや} (You) を認める^{みと}」活動^{かつどう}と「自分^{じぶん} (I) を認める^{みと}」活動^{かつどう}を授業^{じゅぎょう}や学級^{がっきゅう}の時間^{じかん}など、学校生活^{がっこうせいかつ}の多くの場^ばめん^{せつきよくてき}で積極^{とく}的に取^なり入^かれ、仲間^{なかま}とともに学^{まな}び、ともに生^いきる心^{こころ}を育^{はぐく}む実践^{じっせん}を進^{すす}めていきます。

これまで基礎学力^{きそがくりよく}や学習意欲^{がくしゅういよく}の向^{こう}上^{じょう}を目指^{めざ}し、授業^{じゅぎょう}の導^{どう}入^{にゅう}や学習活動^{がくしゅうかつどう}を工夫^{くふう}したり、校^{こう}内^{ない}かん^{けん}じけん^{てい}い「SMILE検定^{けんてい}」に取^とり組^くんだり、授業^{じゅぎょう}後^ごの学^{がく}習^{しゅう}支^し援^{えん}「学^{まな}びタ^にイ^{ほん}ム」や日^に本^{ほん}語^ご支^し援^{えん}を行^{おこな}ったりしてきまし

た。今年度^{こんねんど}も、授業^{じゅぎょう}後^ごの学^{がく}習^{しゅう}支^し援^{えん}を充^{じゅう}実^{じつ}させ、ICT^{きき}機^き器^きを有^{ゆう}効^{こう}活^{かつ}用^{よう}しな

がら、学校^{がっこう}をあ^あげ^あて「学^{がく}力^{りよく}向^{こう}上^{じょう}」に取^とり組^くんでいきたいと考^{かんが}えています。

また、様^{さま}々^ざな行^{ぎょう}事^じを通^{とお}して、と^まも^なに学^あび合^あい、高^{たか}め合^あう中^{なか}で、仲^な間^まのよ^よさ^さが分^わかり、お互^{たが}い^みを認^め合^あうことがで^あきるよう^{かんが}にしたいと考^{かんが}えています。